

# 環境問題・生物多様性への取組み

環境問題、特に地球温暖化対策への取組みは、企業の社会的責任と捉え、環境に与える負荷をできる限り小さくするとともに、従業員の環境意識向上に取り組んでいます。お客さまとともに安心して豊かに暮らせる「社会」や「環境」を育み、守っていただけるよう積極的に環境保全に取り組んでいきます。

## 全体的な省エネルギー対策の推進

社内では、空調運転（温度設定・運転時間）に関する目安をはじめ、エネルギー使用機器に関する基本推進事項（昼休み・不在時の消灯・減灯、近隣フロアへの階段移動等）を定め、徹底を図るとともに、その促進のための

諸対策（社内報・イントラネットを活用した従業員の省エネルギーに対する意識・行動の啓発、クールビズの実施等）を実施しています。

全ビルの総エネルギー使用量の状況（「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づき算出）<sup>(注1)</sup>

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
エネルギー使用量(原油換算kl)	57,504	57,979	59,017	58,108	56,690	54,249	53,868
電力使用量(万kWh)	20,467	20,494	20,745	20,318	19,809	19,090	19,134
CO <sub>2</sub> 排出量(t-CO <sub>2</sub> ) <sup>(注2)</sup>	119,569	117,194	116,225	110,416	102,454	94,286	93,110
【目標】事業者の法定目標	5年度間平均エネルギー原単位を年1.0%以上低減など						
【実績】エネルギー消費原単位削減率 <sup>(注3)</sup>	2.2%						
【評価】事業者クラス分け評価制度 <sup>(注4)</sup>	Sランク(最上位)						

(注1) 2023年7月1日現在確定している2021年度実績値までを掲載

(注2) 「地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)」の「算定・報告・公表制度」における排出係数を使用(電力使用によるCO<sub>2</sub>排出量については、電気事業者別排出係数で算出)

(注3) 過去5年度間の対前年度比をそれぞれ乗じた値を4乗根して算定

(注4) 定期報告書等の内容に基づき、事業者を「S(優良事業者)」「A(一般事業者)」「B(停滞事業者)」「C(要注意事業者)」へクラス分け(Sクラスの事業者は、優良事業者として経済産業省のホームページで公表)

### 社外からの評価

丸の内 MY PLAZA(明治安田生命ビル・明治生命館)が「トップレベル事業所」に継続認定

東京都環境確保条例に基づく「優良特定地球温暖化対策事業所<sup>(注5)</sup>(第三計画期間)」において、第二計画期間に続き、東京都より「トップレベル事業所」として認定を受けました。丸の内MY PLAZAは、オフィスと商業施設の複合用途ビルとして多くのお客さまにご利用いただいております。今回の認定は、エネルギー効率の高い設備の導入に加え、テナントと一体になったCO<sub>2</sub>削減体制の構築などの取組みが評価されたものです。

(注5) 「優良特定地球温暖化対策事業所」は、東京都による都内の大規模事業所へのCO<sub>2</sub>排出量削減のための推進体制から省エネ設備の導入状況等の全210項目の審査により認定されます。「優良特定地球温暖化対策事業所」のうち、「対策の推進が極めて優れた事業所」が「トップレベル事業所」として認定されます。



### 環境認証の取得

当社が保有するビルでCASBEE-不動産<sup>(注6)</sup>の認証を取得しており、いずれも「Sランク」と高い評価を得ております。



明治安田生命ビル  
(明治生命館含む)



明治安田生命  
大阪梅田ビル



明治安田生命  
さいたま新都心ビル



明治安田生命  
大阪御堂筋ビル



品川シーサイド  
ウェストタワー



アークヒルズ  
仙石山森タワー

(注6) CASBEE-不動産: CASBEE(Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency/建築環境総合性能評価システム)は、建築物を環境性能で評価し格付けする手法で、省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮と、室内の快適性、景観への配慮等も含めた建築物の品質を総合的に評価するシステムです。CASBEEの一つである「CASBEE-不動産」は、国土交通省の支援のもと2013年より開始された認証制度で、竣工後1年以上の建物(オフィスビル等)を対象に「Sランク」、「Aランク」、「B+ランク」、「Bランク」の4段階で評価されます

当社が保有する戸田寮で、建築物省エネルギー性能表示制度 (BELS<sup>(注7)</sup>) にて、「ZEB Ready」の評価を得ました。

(注7) BELS (Building-Housing Energy-efficiency Labeling System) とは、国土交通省が定めた評価基準に基づいて第三者機関が建築物の省エネルギー性能を評価する制度です。

ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) は、快適な室内環境を保ちつつ、建物の高断熱化や効率の高い設備等により省エネルギーに努め、太陽光発電等によりエネルギーを創ることで、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることをめざした建物のことです。BELS の評価制度において、ZEB の評価は「ZEB」(最高評価)、Nearly ZEB、ZEB Ready、ZEB Oriented の4段階で表されます



## 環境に配慮したオフィスビルの取組み

気候変動 (オゾン層の破壊) に影響を及ぼすフロン類の大気中放出を抑制するため、所有設備 (業務用空調機、ターボ式冷凍機など) の定期点検や設備補改修などにより対策を講じています。

また、使用する冷媒種は、温室効果の逡減やオゾン層の破壊抑制につながる、環境に優しい冷媒への切り替えを、漸次、行なっています。

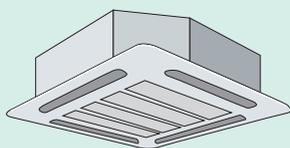
全設備の総算定漏えい量の状況 (「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき算出)<sup>(注8)</sup>

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
算定漏えい量 (t-CO <sub>2</sub> ) <sup>(注9)</sup>	1,021	1,052	1,031	1,450	1,897	893

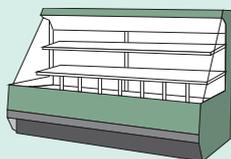
(注8) 2023年7月1日現在確定している2021年度実績値までを掲載

(注9) 所有台数にかかわらず、事業者単位で年間算定漏えい量が1,000t-CO<sub>2</sub>以上の場合、事業を所管する大臣に報告が必要

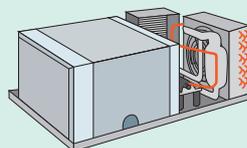
### 当社で取り扱う対象設備



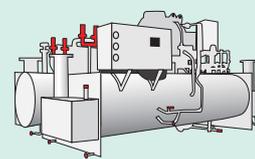
業務用空調機器



冷凍冷蔵ショーケース



定置型冷凍冷蔵ユニット



ターボ式冷凍機

等

## 環境に配慮した社用リース車両の導入

世界的な温室効果ガスの排出削減の動きを受け、2021年4月から、全国の営業組織で使用している車両をハイブリッドの車両に順次切り替えを進めています。

また、現在使用しているハイブリッドの車両についても

リース期間更新時に、より環境性能の高い車種へ見直すことを予定しており、すでに水素燃料電池自動車も2台導入しています。

## 環境配慮型商品の購入

本社・支社および営業所等で使用する事務用品については、エコマーク商品、グリーン購入ネットワーク (GPN) 掲載商品、グリーン購入法適合商品、FSC認証商品などの環境配慮型商品を優先的に購入できるシステムを導入しています。2022年度における環境配慮型商品の購入率は金額ベースで73.6%となっています。今後も同システムの活用を通じて、環境配慮型商品の購入を進めていきます。

## 廃棄物の分別・リサイクル

本社がある明治安田生命ビルの各階に専用リサイクルボックスを設置するなど、廃棄物の分別回収やリサイクルに積極的に取り組んでおり、2022年度のリサイクル率は82.9%となっています。



リサイクルボックス